



AUTODOME IP 5000i IR

NDP-5502-Z30L



BOSCH

ja 設置マニュアル

目次

1	安全にご使用いただくために	4
1.1	本マニュアルについて	4
1.2	法的情報	4
1.3	安全に関する表示	4
1.4	安全に関するご注意	5
1.5	安全に関する追加情報	6
1.6	重要な通知－安全照明	6
1.7	重要な通知	7
1.8	カスタマサポートおよびサービス	8
2	開梱	9
3	製品の説明	10
4	取付アクセサリ	11
5	配線の準備	12
6	microSDカードのインストール (オプション)	13
7	監視カメラ用キャビネットとカメラの設置	15
7.1	壁面マウントの設置	15
7.2	取付キャップとカメラの取り付け	15
8	屋上マウントとカメラの設置	17
8.1	屋上マウントの設置	17
8.2	取付キャップとカメラの取り付け	18
9	接続	21
10	メンテナンス	23
11	使用停止	24
11.1	譲渡	24
11.2	廃棄	24

1 安全にご使用いただくために

1.1 本マニュアルについて

本マニュアルは細心の注意を払って作成されており、記載されている情報については十分な検証を行っています。テキストについては印刷の時点で誤字脱字がないことを確認しています。製品開発は継続的に進められている関係上、マニュアルの内容は予告なく変更される場合があります。Bosch Security Systemsは、誤記、不完全な記述、またはマニュアルと対象製品の間の不一致によって直接的または間接的に発生する損害について一切責任を負いません。

1.2 法的情報

著作権

本マニュアルは、Bosch Security Systems, Inc. の知的財産であり、著作権で保護されています。
All rights reserved.

商標

本書で使用されているすべてのハードウェアおよびソフトウェアの製品名は登録商標である可能性があります。これらに対して適切な取り扱いが必要になります。

1.3 安全に関する表示

本マニュアルでは、注意を促す必要がある場合、以下の記号と表記を使用しています。



危険!

高レベルの危険：製品内の「危険電圧」など、差し迫った危険な状況を示します。指示に従わなかった場合は、感電、重度の怪我、または死亡事故に至るおそれがあります。



警告!

警告：この記号は「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。指示に従わなかった場合は、軽度または中程度の傷害を負う危険があります。



注意!

注意：この記号は「傷害を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」を示しています。指示に従わなかった場合は、物的損害を被ったり、本機が損傷したりする危険があります。



注記!

この記号は、ユーザーの安全または所有物の保護に直接的または間接的に関係のある情報または企業ポリシーを示してします。

1.4 安全に関するご注意

以下の安全のための注意事項をすべてお読みになり、これらの注意事項に従って製品を安全にお使いください。また、この冊子は今後も参照できるように、確実に手元に保管してください。本機を操作する前に、すべての警告に従ってください。

1. 清掃するときは乾いた布を使用してください。液体クリーナーやクリーニングスプレーは使用しないでください。
2. ラジエーターやヒーター、ストーブなどの熱を発する機器（アンプを含む）の近くに本機を設置しないでください。
3. 本機の上に液体をこぼさないでください。
4. 電源や雷サージから本機を保護するための対策を実施してください。
5. 本機の調整は、本マニュアルの記載内容に従って行ってください。
6. ラベルに記載されている種類の電源以外、使用しないでください。
7. 有資格者以外は、本機の修理を行わないでください。本機の修理は有資格のサービススタッフに依頼してください。
8. 本機の設置は、弊社の規定や設置する地域の法規に従って行ってください。
9. 付属品やアクセサリは弊社指定品を使用してください。
10. すべての接続ケーブル（特に接続ポイント）を損傷の可能性から保護してください。

注意!



設置は、有資格のサービススタッフが行うこと、およびANSI/NFPA 70 (National Electrical Code® (NEC))、Canadian Electrical CodeのPart I (CE CodeやCSA C22.1とも呼ばれます)、および該当する地域のすべての法規に従うことが必要です。Bosch Security Systems, Inc.は、誤った設置や不適切な設置によって発生する損傷や損失について一切責任を負いません。

全極型電源スイッチ - 最低3mmの接点間隔を設けた、全極型電源スイッチを建物の電気設備に組み込んでください。ハウジングを開ける必要がある場合は、この全極スイッチを使用して、本機への電力供給を切断してください。

カメラ信号線 - カメラ信号線が42mを超える場合は、*NEC800 (CEC セクション60)* に従い、プライマリプロテクターでケーブルを保護してください。

ヒューズ定格 - デバイスのセキュリティ保護のために、分岐回路保護は16Aの最大ヒューズ定格で安全を確保する必要があります。*NEC800 (CEC セクション60)* に従ってください。

屋外の映像信号 - 屋外の映像用に設置する場合、特に電源や避雷針との間隔、および過度電流からの保護については、*NEC725*および*NEC800 (CEC 規則16-224*および*CEC セクション60)* に従ってください。

電源の遮断 - 電源コードを電源コンセントに接続している間、またはHigh Power-over-Ethernet (High PoE) 電力がイーサネットCAT 5E/6ケーブル経由で供給されている間は、常時電力が本機に供給されています。電源コードは、すべての装置への電圧を遮断する主電源遮断デバイスです。High PoEまたはPoE+ (820.3at) を使用して本機に電力が供給される場合は、イーサネットケーブル経由で電力が供給されます。また、イーサネットケーブル自体が全装置への電圧を遮断する媒体となります。

映像ロス - 映像ロスは、デジタルビデオ録画に固有の現象です。このため、Bosch Security Systemsは、映像情報の損失による損害に対して一切責任を負いません。

情報の損失リスクを最小限に抑えるために、複数の録画システムを用意して冗長化し、すべてのアナログおよびデジタル情報のバックアップを取ることをお勧めします。

**注意!**

水の浸入を防ぐため、すべての貫通コネクタは確実に締めて密閉してください。締め方が緩いと、ハウジング内に水が入り、装置が壊れるおそれがあります。シーリング剤を使用する場合は、中性のものを選んでください。酢酸系のシーリング剤は、電子部品に損傷を与える可能性があります。ハウジング外部の配線には、ドリップループを設けてください。

マウントのコネクタねじには、常にテフロンテープとシーリング剤を使用してください（別売りの Bosch 製品または市販品の製品）。

**注記!**

Bosch は、ネットワークケーブルと電源ケーブルおよびカメラ設置場所を保護するために、サージ/雷保護装置の使用を推奨します。NFPA 780、Class 1 & 2、UL96A、または国/地域の適切な同等の規約と、ローカルの建築基準を参照してください。また、各装置（ケーブルが建物、ミッドスパン、およびカメラに入る位置にあるサージ保護器）の設置説明書も参照してください。

1.5 安全に関する追加情報

注記!**水の浸入の危険性**

水の浸入を防ぐため、装置とすべてのマウントの間にある固定具と接続ポイントをすべて確実に密閉してください。確実に密閉されていないと、ハウジング内に水が入り、デバイスが損傷するおそれがあります。マウントのコネクタねじには、常にテフロンテープとシーリング剤を使用してください（別売りの Bosch 製品または市販品）。

シーリング剤を使用する場合は、中性のものを選んでください。酢酸系のシーリング剤は、電子部品に損傷を与える可能性があります。

ハウジング外部の配線には、ドリップループを設けてください。

1.6 重要な通知—安全照明

**注記!**

本製品はIEC62471:2006標準「ランプおよびランプシステムの光生物学的安全性」に従ってテスト済みです。本製品のエミッションは、IEC 62471:2006によって定義されている角膜/水晶体の赤外放射障害に関する免除グループ制限に準拠しています。本製品はIR LEDに関する免除グループの露光制限に準拠していることが確認されました。

IEC 62471には、ランプまたはランプを内蔵する製品のリスクグループの決定方法が規定されています。IEC 62471のリスクグループは、予想される光学放射の危険性のリスクの程度を示します。リスクグループは、数十年間のランプ使用経験と光学放射エミッションに関する偶発的な怪我の分析を基にして開発されました。

除外グループ—継続的に無制限に使用する場合でも、合理的に予測可能な光学的危険性は認められません。一般的な例として、屋内で使用されるほとんどのつや消し白熱電球および蛍光灯があります。

露出危険値 (EHV) は、露出レベル（距離、露出時間）と露出制限値 (ELV) の比率です。EHVが1より大きい場合、本機は特定のリスクグループの露出制限値を超えています。ELVは、目または皮膚に対する光学放射の結果として生物学的な悪影響が予想されないレベルです。

障害距離 (HD) は、露出レベルとELVがほぼ等しくなる光源からの距離です。つまり、特定のリスクグループでEHV=1になる状況です。

本製品の角膜/レンズ赤外線障害に関して、除外グループの露出制限に基づくテスト距離200mmの露出危険値 (EHV) は、2.19です。リスクグループ1の制限に基づくEHVは0.386です。除外グループのHDは297mmです。

次の表にこれらの値の要約を示します。

障害	免除グループ制限		
	t、期間	d、距離	EHV
角膜/水晶体の 赤外放射障害	1000秒 危険距離	200mm 279mm	2.19

1.7

重要な通知

UL免責事項

Underwriter Laboratories Inc (以下「UL」)では、本製品のセキュリティや信号出力に関するパフォーマンスや信頼性のテストは行っていません。ULは、「Standard(s) for Safety for Information Technology Equipment, UL 60950-1」で規定している火災、衝撃、事故の危険性についてのみテストを行っています。ULの認証は、本機のセキュリティや信号出力に関するパフォーマンスや信頼性を保証するものではありません。

ULは、本製品のセキュリティまたは信号出力関連の機能のパフォーマンスや信頼性に関して、一切の表明、保証、認証を提供しません。



注記!

この製品は**クラスA**製品です。この製品を家庭環境で使用すると、無線妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には、ユーザーが適切な対策を講じるが必要になる場合があります。

(米国およびカナダモデルのみ)

本機はFCC規則の第15部に準拠しています。本機の動作は以下の2つの条件に準じています。

- 本機は有害な干渉を起こしません。
- 本機は、予期しない動作をもたらす可能性のある干渉を含め、あらゆる受信干渉を許容します。

注：本機は、FCC規則の第15部およびカナダ産業省のICES-003に基づく**Class A**デジタルデバイスの制限に準拠することがテストにより確認されています。これらの制限は、本機を**商業環境**で作動させたときに有害な干渉から適切に保護するためのものです。本機は、無線周波エネルギーを生成、使用し、放射します。指示どおりに設置して使用しないと、無線通信に対して有害な電波干渉を及ぼすことがあります。本機を住宅地で作動させた場合、有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合はユーザーが自己の費用による干渉の是正を要求されることがあります。

当該製品の準拠内容に対して責任を負う者が明示的に承認していない改造を行うことは、意図的であるか否かを問わず禁止されています。

この冊子は、米国政府印刷局 (Washington D. C. 20402, Stock No. 004-000-00345-4) より提供されています。

1.8 カスタマサポートおよびサービス

本機の修理が必要な場合、最寄りのBosch Security Systemsサービスセンターにご連絡いただき、修理手続きについて、ご確認ください。

サービスセンター

米国

電話：03-5759-4164

FAX：800-366-1329

Eメール：info@hochiki.co.jp

カスタマーサービス

電話：888-289-0096

FAX：585-223-9180

Eメール：security.sales@us.bosch.com

米国テクニカルサポート

電話：800-326-1450

FAX：585-223-3508または717-735-6560

Eメール：technical.support@us.bosch.com

修理センター

電話：585-421-4220

FAX：585-223-9180または717-735-6561

Eメール：security.repair@us.bosch.com

カナダ

電話：514-738-2434

FAX：514-738-8480

ヨーロッパ、中東、およびアフリカ地域

お近くの販売代理店またはBosch販売オフィスにお問い合わせください。詳しくは、以下をご参照ください。

<http://www.boschsecurity.com/startpage/html/europe.htm>

アジア太平洋地域

お近くの販売代理店またはBosch販売オフィスにお問い合わせください。詳しくは、以下をご参照ください。

http://www.boschsecurity.com/startpage/html/asia_pacific.htm

その他の情報

詳細については、Bosch Security Systemsまでお問い合わせいただくか、www.boschsecurity.comをご覧ください。

2 開梱

- 本機は十分に注意して取り扱い、開梱してください。梱包に明らかな損傷がないか確認してください。製品出荷時に生じたと思われる損傷がある場合は、すぐに発送元までお問い合わせください。
- 下記のパーツ一覧に記載された付属品がすべて揃っていることを確認してください。不足品がある場合は、Bosch Security Systemsの営業担当者またはカスタマーサービス担当者にお知らせください。
- 部品のいずれかに損傷があると思われる場合は、その製品を使用しないでください。製品に損傷がある場合は、Bosch Security Systemsまでお問い合わせください。
- この梱包箱は、この製品を輸送するうえで安全上最も適しています。修理のために製品を返送する際は必ずこの梱包箱を使用してください。梱包箱は大切に保管しておいてください。

数量	コンポーネント
1	AUTODOME IP 5000i IR カメラ
1	T15 トルクスドライバー
4	MACアドレス 粘着ラベル
1	吊り下げ型インターフェースプレート
1	M4 ねじ
1	クイックインストールガイド
1	安全に関するご注意
1	技術説明 (EAC)

3 製品の説明

AUTODOME IP 5000i IR カメラは、セキュリティを重視した機能を多く備えています。このカメラは、日中に鮮明な 1080p60 HD 映像を提供するように細かく調整されており、低光量または無光量の条件下でもインテリジェントな赤外線照明器によって細部まで捉えます。この赤外線照明器により、ズームや視野に応じて赤外線照射レベルを自動的に調整し、シーンに対する照射を均一化します。

4 取付アクセサリ

モデル番号	説明	設置場所
NDA-U-WMT	吊り下げ型壁面設置用マウント	屋内壁面（直接取り付け） 屋外壁面（NDA-U-PAx または NDA-U-WMP に取り付け）
NDA-U-PA0 NDA-U-PA1 NDA-U-PA2	監視カメラ用キャビネット （AC 24 V、AC 120 V、または AC 230 V）	屋内/屋外の壁
NDA-U-CMT	コーナーマウントアダプター	建物の角
NDA-U-PMAL	ポールマウントアダプター（大）	監視カメラを設置するポールへ取り付け
NDA-U-WMP	壁面設置、コーナー設置、またはポール設置用マウントプレート	屋内/屋外の壁
NDA-U-RMT	吊り下げ型胸壁マウント	屋上
LTC 9230/01	フラット屋上マウントアダプター	屋上の平らな面

5 配線の準備

- ▶ 必要に応じて、AC 24V、PoE+ (Cat5e/Cat6)、アラーム、音声の配線をすべて準備および設置します。AC 24Vを使用する場合は、ケーブルの最大長と線番の推奨事項に従ってください。

最小ケーブル径に対する最大ケーブル長（メートル）

次の表は、推奨される最大伝送距離をワット数と最小ケーブル径（mm²）に基づいてメートル単位で示したものです。ケーブル径は固定とし、AC 24V時の最大許容消費電力を10%として算出しています。たとえば、20Wのデバイスで最小ケーブル径が1.0mm²の場合、推奨される伝送距離は変圧器から42mになります。

モデル	ワット	1.0mm ²	1.5mm ²	2.5mm ²	4.0mm ²
屋内（天井）	20	42m	68m	109m	275m
屋外	30	28m	45m	72m	183m

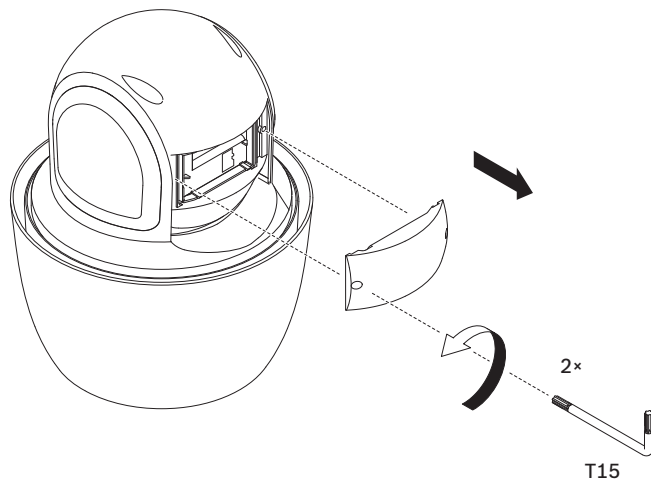
線番

注意：ケーブルのサイズは標準DINサイズ、ISO6722、mm²です。

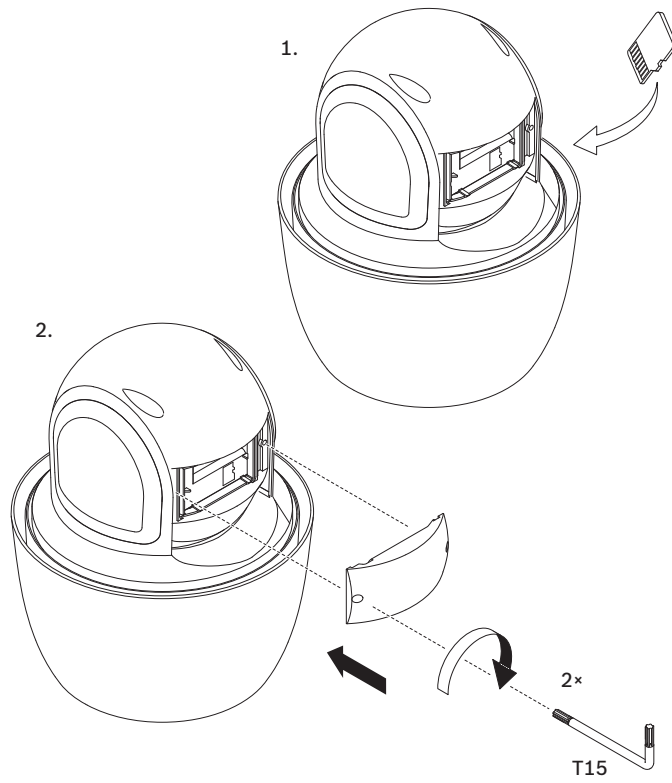
ケーブル直径（mm ² ）	AWG
1.0	18
1.5	16
2.5	14
4.0	12

6 microSDカードのインストール (オプション)

1. カメラハウジングの背面にある2本の六角ねじを取り外します。
2. ハウジングカバーを取り外します。



3. カードをスロットに挿入します。
4. ハウジングカバーを元の位置に取り付けます。
5. ハウジングカバーのねじを締めます。



7 監視カメラ用キャビネットとカメラの設置

壁面、コーナーマウント、またはポールマウントに監視カメラ用キャビネットを直接取り付けることができます。

キャビネット（電源ボックス）を取り付けるには、監視カメラ用キャビネットの**設置マニュアル**の指示に従ってください。

1. ケーブルを壁とマウントに通します。

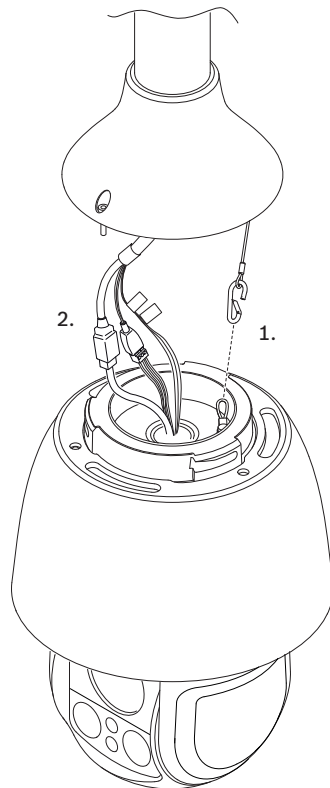
ケーブルは、カメラからマウントおよびカメラの取付キャップを通して接続箇所まで、十分な長さがあることを確認します。

7.1 壁面マウントの設置

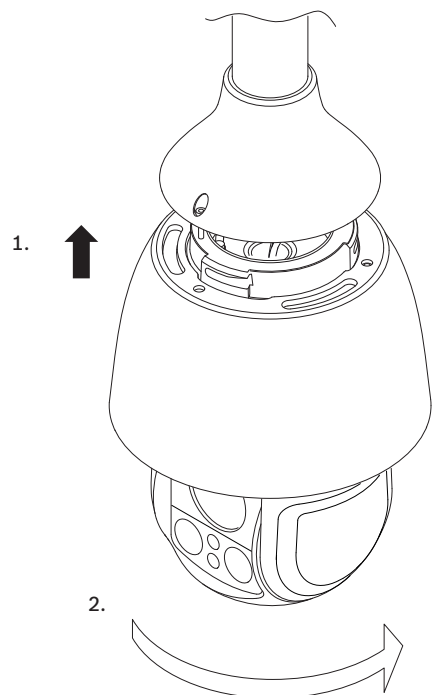
1. 壁面マウントに取付フランジを取り付けます。
2. 壁面設置用マウントを取付フランジに取り付け、それらを 4 本の M5 ねじを使用して壁面設置型監視カメラ用キャビネットの前面ドアに固定します。

7.2 取付キャップとカメラの取り付け

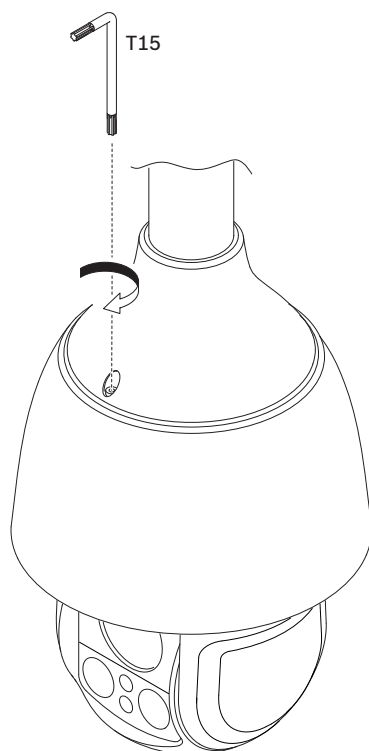
1. 水の浸入を確実に防ぐために、壁面マウントの端にあるねじにテフロンテープを 4 回巻きつけます。
2. 取付キャップを壁面マウントに取り付けます。
3. 取付キャップにすべての接続ケーブルを通します。
4. セーフティワイヤーの端のフックをカメラ上部に取り付けたループに掛けます。
5. 市販ケーブルの連結コネクタを、カメラの対応するコネクタに接続します。詳細については、「接続」の章を参照してください。



6. 取付キャップ内にカメラの上部を挿し込みます。
7. カメラを時計回りに約 15° 回転させて、所定の位置にしっかりとロックします。



8. T15 トルクドライバーを使用して、安全ロックねじを締めます。



8 屋上マウントとカメラの設置

8.1 屋上マウントの設置

1. 屋上壁面のカメラの位置を決定し、屋上胸壁取付用ブラケットをテンプレートとして使用して穴の位置をマーキングします。



注記!

胸壁取付用ブラケットの下に、映像ケーブル、制御ケーブル、アラームケーブルを胸壁アームを通して配線するための十分なスペースを設けます。特定の取り付けでは、カメラを所定の位置まで回転させる際、胸壁アームを持ち上げて、壁面の上部にスペースを設けることがあります。カメラのメンテナンスが必要な場合に、屋根の上でパイプアームを回転させて戻せるように、ケーブルに十分な余裕を持たせます。

2. 必要に応じて、取付アンカー用の穴を開けて、留め具のタイプに合った取付面を準備します。

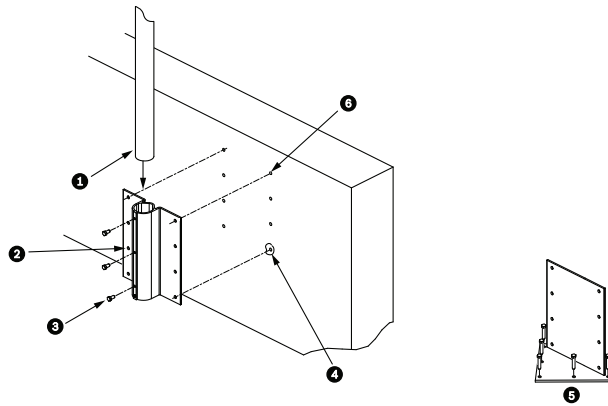


図 8.1: 胸壁面取付用ブラケットおよび屋上マウント用プレート

1	パイプアーム	4	各ねじ穴の周囲にシーリング剤を塗布
2	胸壁面ブラケット	5	屋上マウントプレート
3	3/8-16 SS 六角頭ボルト (付属品)	6	最低 6 本の留め具 (付属していません) を使用します。8 個のねじ穴が示されています。

注記!



マウントを取り付ける対象の材質によって適切な留め具が異なるため、屋上胸壁マウントキットには留め具が付属していません。材質は、最低でも 275 kg の引張強度 (たとえば、合板では最低でも 19 mm が必要です) に対応している必要があります。留め具には、ボルト、スタッド、ラグボルトなどがあります。留め具は、すべて直径 10 mm の耐食ステンレス製にする必要があります。すべてのボルトが取付面全体に広がり、平座金、ばね座金、ナットで固定される必要があります。すべてのスタッドがコンクリートに固定されるか、または金属製裏当て板に溶接されている必要があります。背面にアクセスできない構造には、アンカーボルトを使用することができます。

3. 取付面の各留め具の周囲に防水シーリング剤を塗布します。
4. 最低 6 本 (両側に 3 本ずつ) のステンレス製留め具を使用して、屋上胸壁取付用ブラケットを取り付けます。(ブラケットには 8 つの穴があります。) ねじの頭がつぶれる可能性があるため、きつく締めすぎないでください。胸壁マウントを平らな屋根に取り付ける場合、オプションの LTC 9230/01 屋上マウント用プレートを屋根に取り付けてから、胸壁面取付用ブラケットを屋上マウント用プレートに取り付けます。

5. 胸壁パイプアームをブラケットの底に達するまで取付用ブラケットに挿入します。
6. アームの前面のエンドキャップを取り外します。映像ケーブル、制御ケーブル、電源ケーブルをパイプアームの底部から上方へ通して、前部から外へ引き出します。

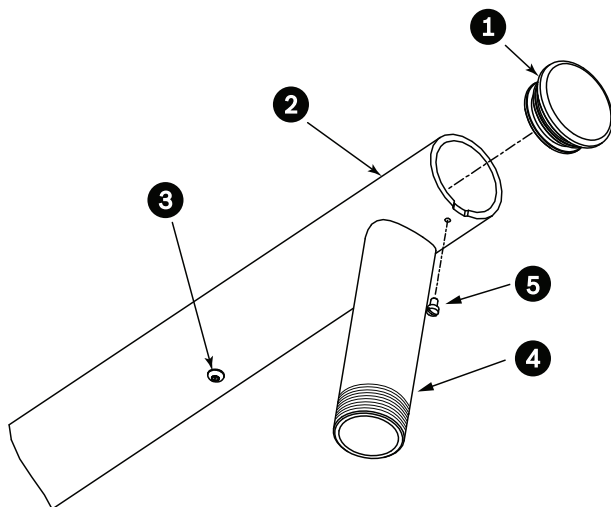


図 8.2: NDA-U-RMT

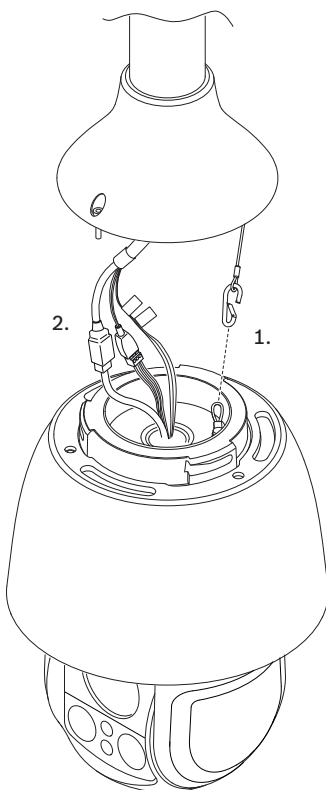
1	0 リング付きエンドキャップ
2	胸壁パイプアーム
3	1/4-20 SS 丸頭ねじ
4	下向きパイプ
5	10-24 SS なべ頭ねじ

7. 映像ケーブル、制御ケーブル、電源ケーブルをアームの前端部で折り返し、下向きパイプを通して下方に配線します。エンドキャップを交換します。
8. 下向きパイプのねじにテフロンテープを少なくとも 5 層巻きつけます。

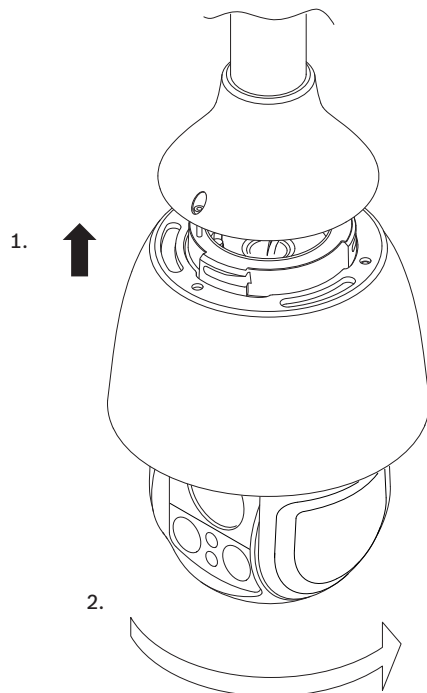
8.2

取付キャップとカメラの取り付け

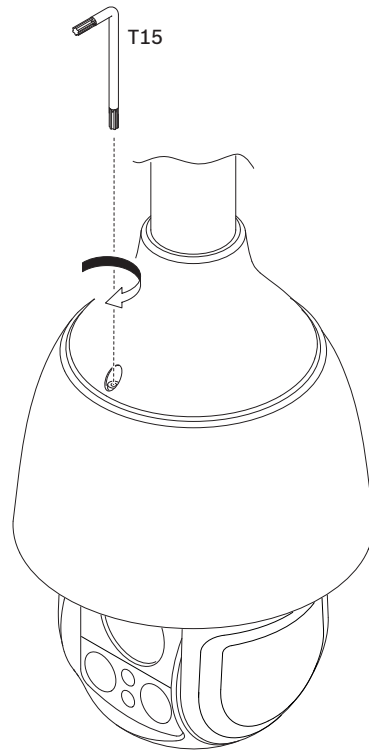
1. 水の浸入を確実に防ぐために、壁面マウントの端にあるねじにテフロンテープを 4 回巻きつけます。
2. 取付キャップを壁面マウントに取り付けます。
3. 取付キャップにすべての接続ケーブルを通します。
4. セーフティワイヤーの端のフックをカメラ上部に取り付けたループに掛けます。
5. 市販ケーブルの連結コネクタを、カメラの対応するコネクタに接続します。詳細については、「接続」の章を参照してください。



6. 取付キャップ内にカメラの上部を挿し込みます。
7. カメラを時計回りに約 15° 回転させて、所定の位置にしっかりとロックします。



8. T15 トルクスドライバーを使用して、安全ロックねじを締めます。



9 接続



注意!

EN50130-4アラーム標準- セキュリティ用途向けCCTVへの準拠

EN50130-4アラーム標準の要件を満たすために、補助用の無停電電源装置（UPS）が必要です。UPSは、製品のデータシートで指定された切り替え時間が2～6ミリ秒で、電源レベルのバックアップランタイムが5秒以上である必要があります。

注意：ケーブルバンドルの要件および制限については、米国電気工事規程（NEC）を参照してください。

- ▶ ケーブルをカメラのAC 24Vの配線に接続します。

ラベルID	説明	ケーブル配線色
AC24V	AC 24V	赤
AC24V	AC 24V	黒
EARTH	アース（接地）	黄／緑

- ▶ イーサネットケーブルをカメラのRJ45コネクタに接続します。次の図は、通常のシステム構成を示しています。

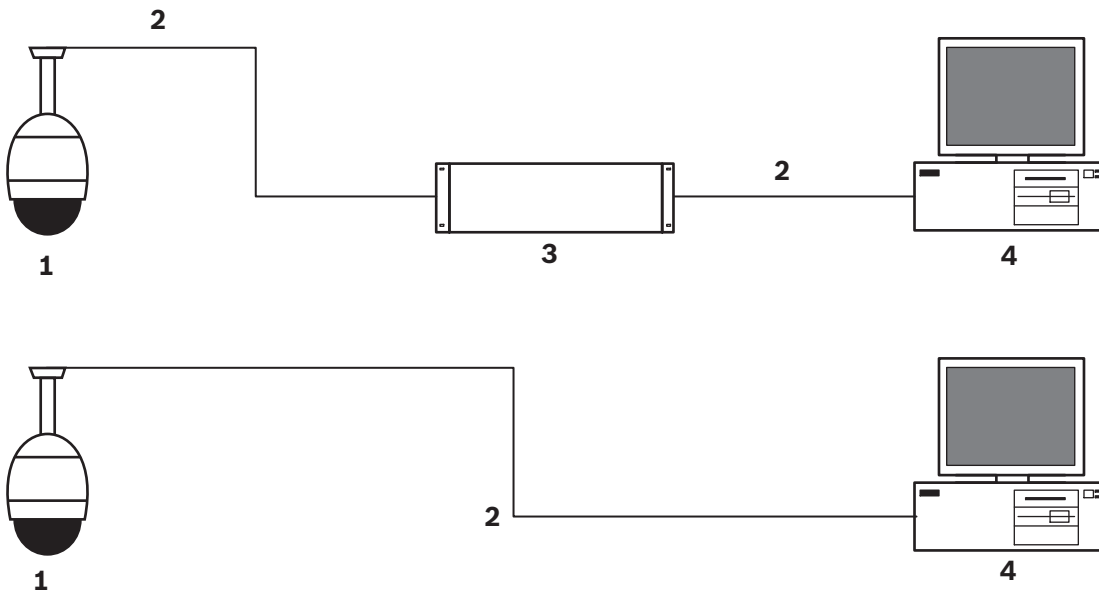


図 9.1: AUTODOME IPシステム構成

1	AUTODOMEカメラ
2	IP接続（イーサネット／CAT5／CAT6）（最大100m）
3	ネットワークスイッチ
4	ネットワークデバイス（モニター付きコンピューター、DVR／NVRなど）

- ▶ 必要に応じて、次の表に従ってアラーム／音声の配線を接続します。

ラベルID	説明	ケーブル配線色
ALARM_COM	アラーム通信	赤
ALARM_OUT	アラーム出力	茶

ラベルID	説明	ケーブル配線色
ALARM_IN1	アラーム入力1	白
ALARM_IN2	アラーム入力2	青
AUDIO_OUT	音声出力	グレー
GND	アース	黒
AUDIO_GND	アース (音声)	緑
AUDIO_IN	音声入力	紫

10 メンテナンス

すべてのドームカバーは、取り扱いや清掃の際には傷を付けないように特に注意が必要です。



注記!

ハウジング内部に過度の湿気が充満することを避けるために、ドームカバーがハウジングから外されている時間を制限します。ドームカバーをハウジングから取り外す時間を5分以内にするをお勧めします。

ドームカバーの取り扱い

ドームカバーは保護用のビニールシートで梱包されている場合があります。ドームカバーを取り付ける準備ができるまで、ビニールシートを外さないでください。傷が付くと、視認性に影響する可能性があります。そのため、ドームカバーの取扱いは慎重に行ってください。

ドームカバーの清掃

ドームカバーの清掃が必要な場合は、次の手順を実行し、以下の警告のすべてに従ってください。

ドームカバー内部の清掃

内部の表面は非常に柔らかいので、布でこすったり拭いたりしないでください。（できれば、スプレー缶から）乾燥した清潔な圧縮空気を使用して、内部の表面のほこりを取り除いてください。



警告!

アルコール系溶剤を使用してドームカバーを清掃しないでください。アルコール系溶剤を使用するとポリカーボネートが不透明になり、時間と共にそのストレスによる劣化が引き起こされて、ドームカバーが壊れやすくなります。

ドームカバー外部の清掃

ドームカバー外部は、保護を強化するためにハードコーティングされています。清掃が必要な場合は、安全ガラスレンズの清掃に適した清掃用液剤と布のみを使用してください。表面を傷つけない乾いた布でドームカバーを拭いて完全に乾かし、ウォータースポットができないようにしてください。絶対に研磨剤やクリーナーでドームカバーをこすらないでください。

ドームカバーの外部は、製造元の指示に従って、NOVUS 「No.1」 Plastic Clean & Shine（または同等品）で清掃することをお勧めします。注文またはお近くの販売代理店については、www.novuspolish.com を参照してください。

注意


- 直射日光の下や非常に気温の高い日にドームカバーを清掃しないでください。
- ドームカバーに研磨剤や強いアルカリ性のクリーナーを使用しないでください。
- かみそりやその他の鋭利な器具でドームカバーをこすらないでください。
- ドームカバーにベンジン、ガソリン、アセトン、四塩化炭素を使用しないでください。

11 使用停止

11.1 譲渡

このユニットを譲渡する場合は、必ずこの『設置マニュアル』を添付してください。

11.2 廃棄

	<p>廃棄</p> <p>Bosch製品は、再利用が可能な高品質の材質やコンポーネントを使用して開発、製造されています。</p> <p>この記号は、使用済みの電子および電気機器を家庭用のごみと分別して、廃棄しなければならないことを示しています。</p> <p>EUでは、使用済みの電気および電子機器製品を個別に回収するシステムがあります。これらの機器は、お住まいの地域の廃棄物収集またはリサイクルセンターで廃棄してください。</p>
---	---

Bosch Security Systems B.V.

Torenallee 49

5617 BA Eindhoven

Netherlands

www.boschsecurity.com

© Bosch Security Systems B.V., 2017